

(仮) スポーツ歯科って？ ～スポーツと歯科の関係～

群馬県ラグビーフットボール協会 メディカル委員会

片野歯科医院 (みなかみ町)

片野勝司

2020年に東京オリンピックの開催が決まりスポーツ（特に競技スポーツ）への関心が大きくなっています。そのような状況の中で、口腔外傷や脳震盪の予防・軽減といったスポーツ外傷や障害の予防目的で、マウスガード（以下MG）の使用が義務化されている格闘技などのコンタクトスポーツだけでなく、その他の様々なスポーツシーンでも見受けられるようになり、口腔内環境の管理の必要性や、咬み合せ・食いしばりといった事が、運動機能や全身状態に影響を与えることは、競技関係者の間でも周知されるようになってきました。さらには、国立科学スポーツセンター（JISS）でのメディカルチェックに歯科が加わり、改訂されたスポーツ基本法の医科学情報の項目にも歯科が明記され、日体協と日本歯科医師会によるスポーツデンティスト制度の導入などスポーツ歯科を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。しかしながら、その一方で歯科医師が作製したMGの質や、違法行為である業者の介入などが問題となってきています。最近プロゴルフで起こった失格事件も、提供した歯科医師と大会運営サイドの知識と認識の欠如から起こった事と、私たちは考えています。このようなトラブルに巻き込まれないためにも、正しい知識と認識を持って対応することが必要です。

私たちが、今まで行ってきた選手サポートや調査・実験等を通じて知り得たスポーツ歯科に関する事、マウスガードの正しい知識、そして群馬県におけるスポーツ歯科の現況と今後の展望などについて、お話したいと思います。